

【福島市】

会 議 名	平成30年9月27日定例記者会見
日 時	平成30年9月27日（木） 午前10時～10時24分
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p><b>開会</b> それではただいまから定例記者会見を始めます。それでは、市の発表事項について、市長よろしくお願ひします。</p>
市長	<p><b>市からの発表事項</b> <b>皆さんの意見が中心市街地を元気にする！</b> <b>～市民懇談会開催～</b></p> <p>はい、今日は4件ほど発表事項があります。 まず一つ目は中心市街地の老朽化した公共施設の戦略的な再編整備と、活性化に関する市民懇談会を開催するというものです。現在、官民合同の二つの委員会を設置して検討を進めていますが、検討委員会からは年内に提言をいただき、そして市としても「青写真」をお示しするというにしています。基本的には検討委員会にご検討いただいておりますが、できる限り市民の皆さんのご意見も踏まえた上で市としての青写真を示したいということで、市内4会場で市民懇談会を開催するものであります。概要は資料の1にありますように、11月3日、6日、7日、9日のそれぞれ18時半から市内4会場で約1時間半程度開催します。参加の申し込みは10月末までに福島市HPの申込メールフォーム、または担当の政策調整課企画政策係まで電話で申し込み形になります。</p> <p>全会場に私も出席しますし、副市長も手分けして出席することにしてあります。内容的には検討委員会の検討状況を事務局から説明して、それを踏まえて、参加者の皆さんからいろいろご意見をお聞きし意見交換をするという内容となります。以上が一点目です。</p> <p><b>住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために</b> <b>10月1日「福島市在宅医療・介護連携支援センター」開所</b> 二点目は10月1日から福島市在宅医療・介護連携支援センターを開所するというものです。 市の医師会に委託して在宅医療・介護連携支援センターを開所して、在宅における地域包括ケアシステムを一層推進します。これ</p>

により医療・介護が連携した形で、在宅での医療介護について、一体的・継続的にサービスが受けられる体制を構築するというものです。

ちなみにこのセンターは、一般の利用者の方々が利用するというよりも、専門職の皆さん、関係する人たちの連携のためのものです。

事業内容としては資料の2のアからクに掲げられている通りです。その中で、地域の医療・介護の資源の把握というのは、機関の在宅医療に関する実施状況をHP等で公開するというもので、これは、一般市民の方々も状況を把握できるようになると思います。

ちなみに今、市内では186箇所が在宅の医療を提供できる体制になっています。

開所式は10月1日13時半、場所は市の保健福祉センター4階第1保健指導室で行います。開所式の内容は資料の3の通りになります。

当面の予定としては、開設記念講演会を実施します。これは専門職が対象でありまして10月9日18時半から市の保健福祉センター5階大会議室におきまして、ふくしま在宅緩和ケアクリニックの鈴木雅夫先生からご講演をいただくことにしています。それからずっと先になりますけど、一般市民の方対象の講演会としては資料の(2)にありますように、来年の3月20日14時半からコラッセの4階におきまして、たんぽぽクリニックの永井康徳先生に愛媛県からお越しいただき、「自分らしい生き方＝逝き方～在宅医療での自然な看取り」という仮題でお話しいただくことにしています。

なお、在宅医療・介護連携支援センターにつきましては資料の5にあります通り、市の保健福祉センター3階に設置しますが、相談受付の時間としては8時半～17時15分まで、職員体制としては3名で非常勤のセンター長、常勤の事務所長、常勤の主任となります。二点目は以上になります。

### **ホストタウン交流国スイスに触れよう！**

#### **～スイスフェスタ及び関連イベントを開催～**

三点目は「ホストタウン交流国スイスに触れよう！～スイスフェスタ及び関連イベントを開催～」のお知らせです。2020年東京オリンピック・パラリンピックで本市はスイスとホストタウン交流を行うことにしていますが、10月はグルメと音楽でスイスを楽しんでいただきたいということでイベントを開催します。まずは資料の1にあるように、スイスフェスタは10月13日(土)10時～16時まで四季の里にて、スイスの民族音楽を実

施します。それから資料の②にありますようにスイス料理の提供ということでラクレット300食ほど提供します。それからホットチョコレートドリンク、こちらはスイスの老舗ブランド「カイエ」のチョコレートをホットミルクに溶かしたドリンクを提供します。これ自体はスイス大使館からご協力・ご提供をいただいています。こちらも300人分です。それからスイスのPRブースを設けるといような内容になっています。

これに関連しまして、この時期にいろいろイベントを開催することにして、資料の(1)にありますように市の食堂でも11日と12日にアルペンマカロニなどスイス料理を取り入れた特別メニューを各日で限定50食ずつ提供します。それから在日スイス大使館による学校交流ということで、スイスの文化・広報部長ジョナス・プルヴァさんにおいでいただいて、本市の渡利小学校でスイスに関する事業を実施していただくことになっています。この時も子どもたちの給食にアルペンマカロニなどスイス料理を取り入れたものを提供して子どもたちにスイスに触れてもらおうというものです。

それから資料の(3)のルツェルン祝祭管弦楽団のメンバーらによる室内楽の調べは、10月14日午後2時から市の音楽堂大ホールにてコンサートを開催します。市民の皆さんには奮ってご参加いただきたいと思えます。

### 戊辰から明治を生きた福島の人々に思いをはせる

#### ～シンポジウム「戊辰から福島の近代を考える」

#### 演劇公演「絹が鳴る—西信戊辰明治譚—」開催～

続いて四点目になります。戊辰戦争150周年関連です。おかげさまで、長楽寺で実施した展示会の方は1044名にご観覧いただきましたが、こちらがメインイベントになるかと思えます。

11月9日「戊辰から福島の近代を考える」というシンポジウムを開催します。場所はこむこむのわいわいホールで定員は270名です。入場券のお申し込みは10月19日までに往復はがきで市の文化課にお申し込みください。内容としては資料の(6)にあるように、基調講演で作家の星亮一さんに「幕末戊辰戦争と福島」というタイトルでご講演をいただきます。続きましてシンポジウム「幕末から明治へ～福島藩の決断と戊辰戦争後の福島～」これは戊辰戦争後の福島を振り返ってみようということで、引き続き星さんにご参加いただいて、福島藩の藩主であった板倉家の現当主板倉敏和さんと、県の文化振興財団専門学芸員の山田英明さんにご参加いただきます。そして私も加わりまして4名でシンポジウムを行います。

二点目は演劇公演「絹が鳴る—西信戊辰明治譚—」を11月4日

【福島市】

	<p>に実施します。場所は民家園内の旧広瀬座です。午前午後の2回にわたってやりますが、すでにチケット販売を開始しています。開催内容は、劇団1200ENによる演劇公演で、蚕を飼うだけが取り柄の娘など荒井の山中に集まった身分や藩の違う7人とおして、幕末から明治の福島の姿を描くという内容です。主催は西地区ふるさとの歴史再発見事業実行委員会になります。私からは以上となります。</p>
<p>広報課長</p>	<p>それではただいまの発表事項について質疑応答に移ります。ご質問のある方は挙手・指名の後ご発言をお願いします。それではどうぞ。</p>
<p>記者</p>	<p>資料の(3)のホストタウン交流についてですが、交流の先に事前合宿についても視野に入れていると思いますが、静岡の富士だったり茨城のつくばだったりホストタウンスイスとの事前合宿を決めたところがありますが、市の今後の戦略についてはどのようにお考えですか。</p>
<p>市長</p>	<p>ホストタウンのところに事前合宿をやっていただけないかと我々アプローチしていますけど、なかなか競技団体のアプローチというのは難しくて、先日鈴木オリパラ大臣がいらっしゃったときも、交流するうえでその辺は非常に大変なんだと訴えました。基本的にはホストタウンのスイスを前提に考えたいとは思っているんですけど、一方で我々はオリンピックで野球・ソフトボールの開催地にもなるわけですから、そういう点では、開催地で事前合宿をやるというのは非常に良いことだと思うんですね。そういう点でも事前合宿を呼べないかな、と思っています。</p>
<p>記者</p>	<p>県の施設ですが、野球場だけでなくあづま総合運動公園は非常にいろんなものが揃っていてメリットもあるし、ソフトボールの開催もあるので逆にデメリットを感じる点もあります。他競技団体に対してのアピールについてはどうなのでしょう。</p>
<p>市長</p>	<p>そこは特段(問題)無いと思います。闇雲に広げてやっても仕方がないですから、ホストタウンスイスというのが我々にとって重要になりますし、競技は野球・ソフトボールを中心に、他に關心を持ってくれれば市内でもいろいろな施設がありますからそこは幅広く対応したいと思います。</p>
<p>広報課長</p>	<p>その他ありますでしょうか。</p>
<p>記者</p>	<p>同じく資料の(3)のホストタウン交流についてですが、これは</p>

【福島市】

	<p>あくまで第1弾ということで、今後さらなる交流については計画されているのでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>そうですね、いろいろやっていきたいと思っています。ただ遠いのでリアルな交流というのは難しい面があると思います。来年4月にスイスから中高生が福島に来まして柔道を通じて交流することになっています。大使館もぜひ子どもたちとやりたいとお話もしているので、子どもたちを中心に様々な交流を考えたいと思っています。それから今回の料理の提供は市のイベントでやるだけですけど、民間のレストランなどにご協力いただいでスイスのメニューなんかも提供していただければと考えています。</p>
<p>広報課長</p>	<p>その他ありますでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>ちなみに在宅医療・介護連携支援センターというのは、今のところ県内では白河地域は広域でやっていて、あとは須賀川市でやっていて、県内では3箇所目だということになります。</p>
<p>広報課長</p>	<p>発表事項に関する質問はよろしいでしょうか。 ではその他のご質問を承ります。</p>
<p>記者</p>	<p>吾妻山の噴火警戒レベルが引き上げられたことに関連して、少なくない観光の影響が出ているのかなと思います。これから秋の観光シーズンを前に福島市としてどのように対処していくのか、何か計画やお考えがあれば教えてください。</p>
<p>市長</p>	<p>今日、災害対策本部会議を開いて、そういった状況の確認を行いました。現時点では噴火レベルが上がったことに伴うキャンセルといったものは出ていないということで冷静な受け止め方です。ただ痛いのはスカイラインが全面通行止めになってしまったことで、紅葉を楽しむ方やトレッキングを楽しむ方が減るので観光客減という影響が出てくるのは確かだと思います。状況を見ながら、トレッキングにしても別の地域をご提案してコースを提供するとか、いろいろな代替案を考えなければならないと思います。今後の観光の状況次第で、スカイライン・浄土平を念頭に行ってきた事業を別のものに振り向けたり、必要ならさらに強化して、観光の影響が出ないようにこれから考えていきたいと思っています。</p>
<p>広報課長</p>	<p>その他ありますでしょうか。</p>
<p>記者</p>	<p>先日撤去されたサン・チャイルドの件ですが、取材をしています</p>

## 【福島市】

	<p>と四季の里や広いところにもう1回設置してほしいという声も聞こえてくるのですが、現時点で方針等お決まりでしたら教えてください。</p>
市長	<p>こむこむからの撤去決定から、再度置いてほしいという声はお寄せいただいています。ただ、議会と重なっていた時期でしたので、現時点では詰まった議論まではできていません。</p>
広報課長	<p>その他ありますでしょうか。</p>
記者	<p>サン・チャイルドに関連して再度質問させていただきます。市長自ら給料を月額10%減額するという条例案を出されて、改めて今後市政としてどのように対応していきたいかお答えください。</p>
市長	<p>今回の経緯を私として反省して今後の戒めにしたいということで、あえてああいう形を取らせていただきました。私自身は「開かれた市政」ということで、これまでも様々な形で市民の皆さんとのコミュニケーションを図ってまいりました。新たに「元氣トーク」も始めましたし、実際にこういうメディアの皆さんとの会見も原則隔週にしていますし、フリーな質問の時間を設けさせていただいて、さらにこれもオープンにするという形でやっています。残念ながら今回はそういう面で抜かったなと思っています。今後も市民とのコミュニケーションというのを重視した姿勢を推進していきたいと思っています。その一つに、今日も発表させていただいた、まちづくりに関する市民懇談会があります。ただ難しいですね、現実には、合意形成というのにはある程度時間がかかります。その一方で、今の現状を考えるとある程度スピード感を持ってやらなければならない。これはメディアの皆さんも、スピード感が大事だ、とおっしゃったりするわけで。両方を我々はやらなきゃいけないわけです。そこを両方うまく兼ね合わせながら取り組んでいくことが大事なので、引き続き、改めて合意形成とかコミュニケーションというのには留意をして市政運営を進めていきたいと思っています。</p>
広報課長	<p><b>閉会</b> 他に質問がないようですので、以上をもちまして、定例記者会見を終了いたします。</p>